

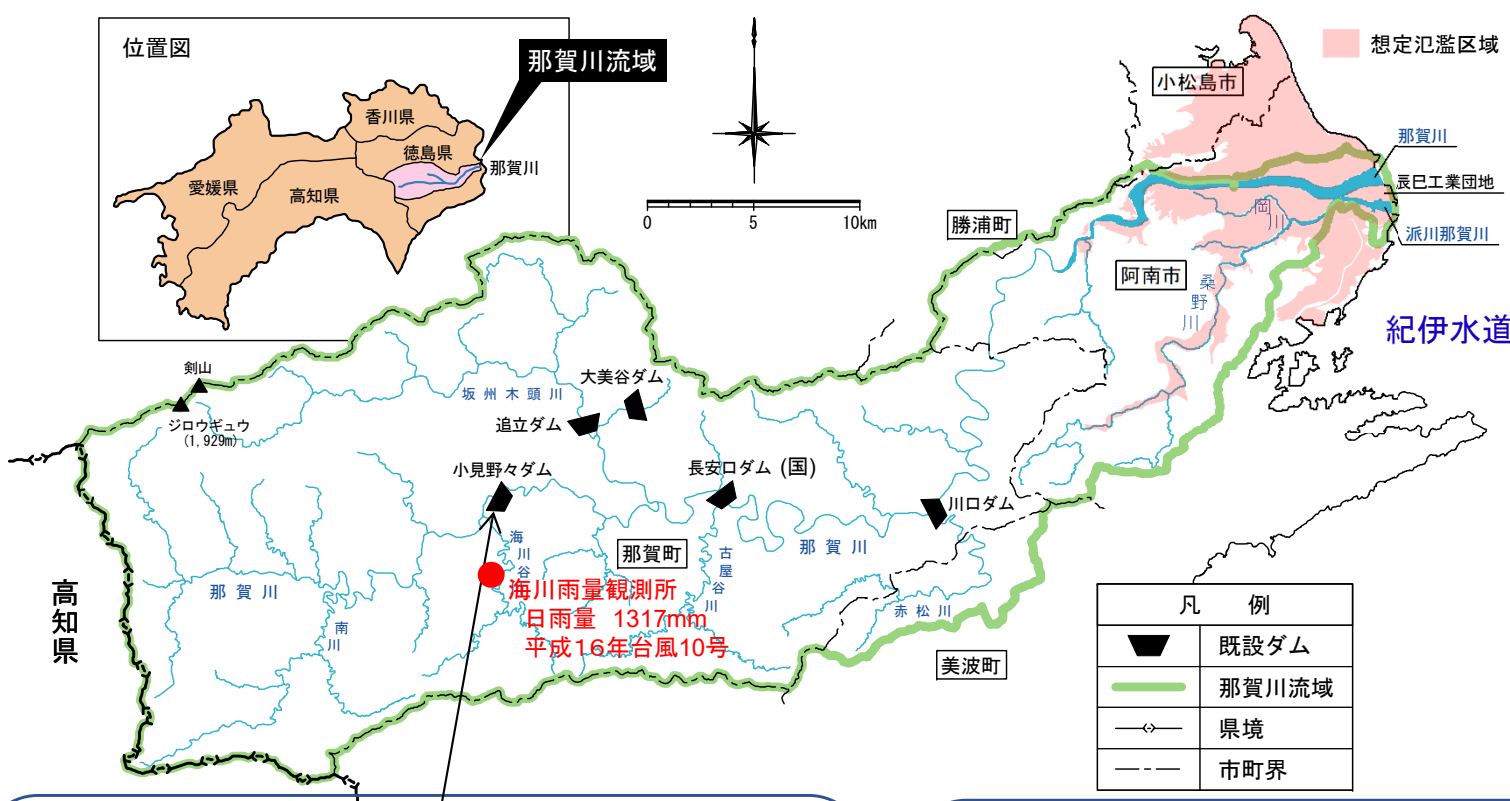
那賀川流域における生態系ネットワークの取組

那賀川河川事務所

令和8年2月6日

流域概要

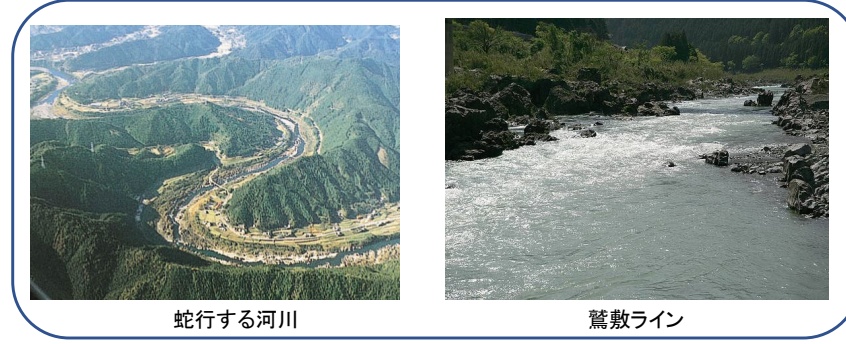
○幹川流路延長：125km、流域内人口約4.4万人（氾濫区域内人口約6.8万人）
○流域の主な産業：製紙、化学工業製品、製材、木工等



大釜の滝(日本の滝百選選定)

小見野々ダム(四国電力)

上流



蛇行する河川

鷺敷ライン

中流

下流

那賀川流域の自然環境(魚類・鳥類)

■上流域の概要(川口ダム上流)

鳥類ではヤマセミ、カワガラス等が生息し、猛禽類の繁殖も確認されている。また、水域にはアマゴ、アユ、タカハヤ等の魚類が生息しており、支川丈ヶ谷川では教育機関や自治体等との協同により地元児童を対象にしたアユの産卵場づくりを実施している。



ヤマセミ



アユ



アマゴ

■中流域の概要(川口ダム～十八女橋)

鳥類ではセキレイ類、サギ類等が生息している。また、水域にはアユ、オイカワ、ウグイ等の魚類が生息している。



キセキレイ



オイカワ



ウグイ

■下流域の概要(十八女橋～潮止め堰)

水域にはアユ、ウグイ、サツキマス、ヨシノボリ類等の魚類が生息し、瀬はアユの産卵場となっており、自然再生事業により瀬環境の保全・創出を図るとともに地元小学生によるアユの産卵場づくりを実施している。また、河原にはコアジサシやシロチドリなどの鳥類が生息しており、一部の砂州では、ねぐらをとるナベヅルも確認されている。



コアジサシ



カジカ(小卵型)



ナベヅル



アユ

■汽水域の概要(潮止め堰～河口)

河口付近では干満差による干潟が出現し、シオマネキや固有魚などの貴重種が確認されていることから、阿南市生物多様性ホットスポットに選定されている。また、魚類ではマハゼ、ボラ、スズキ等が生息し、鳥類ではシギ、チドリ類等の渡来地となっている。



シオマネキ



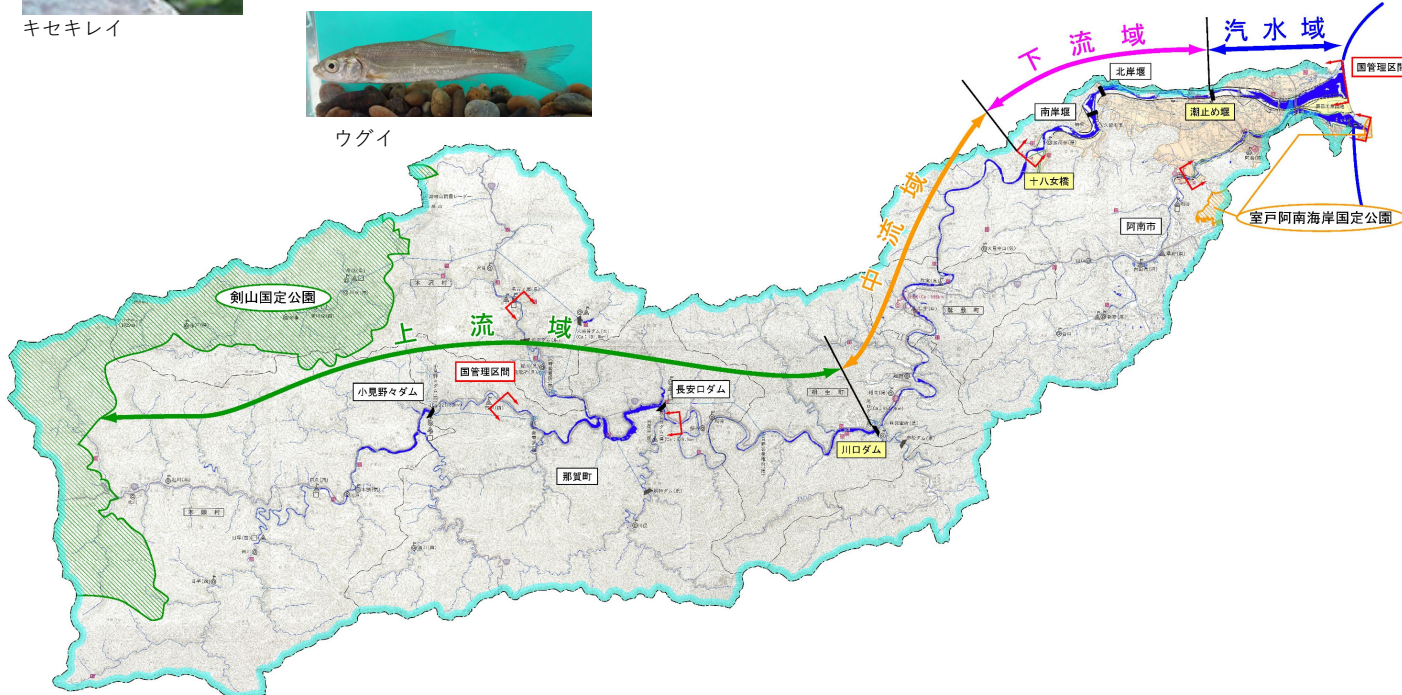
シギ・チドリ



マハゼ



スズキ



■桑野川の概要

上流の水域には県の天然記念物であるオヤニラミが生息し、中下流域ではヤリタナゴ、ヌマムツ等緩流を好む魚類が多い。

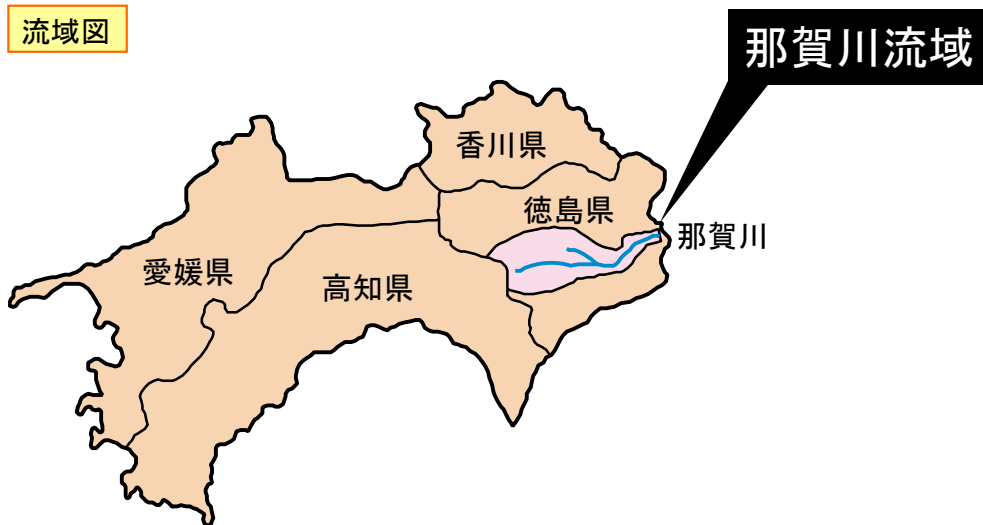


オヤニラミ



ヤリタナゴ

流域図



- 四国では、ツル類（主にナベヅル）の飛来記録が吉野川流域、那賀川流域、四万十川流域に集中している。
- 那賀川流域においては、2008年度よりナベヅルの飛来が確認されており、2015年度には34羽、近年では2023年度に最大7羽が飛来し、6羽の越冬が確認されている。
- 那賀川では、周辺の水田で採餌し、河川内の砂州をねぐらとして利用している。

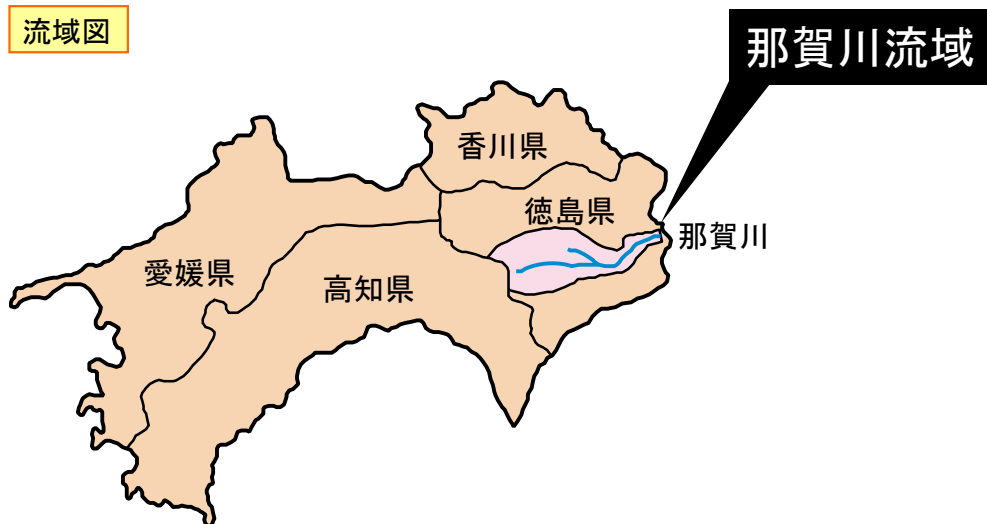
希少種情報につき、委員のみ

那賀川流域におけるツル類の飛来状況



那賀川でねぐらをとるナベヅル（2015年度の越冬時）
撮影日：2015.12.24、写真提供：日本野鳥の会

流域図



- 四国では、四万十川流域、吉野川流域に集中しているものの、那賀川流域の周辺においても確認記録がある。
- 那賀川流域では、2013年からコウノトリの飛来が確認されており、良好な水田環境が残されていることから、主に周辺の水田地帯へ飛来している。
- 近年では、2022年度に阿南市 希少種情報につき、委員のみ
希少種情報につき、委員のみ 小松島市 希少種情報につき、委員のみ で3羽の飛来が確認されている。

希少種情報につき、委員のみ

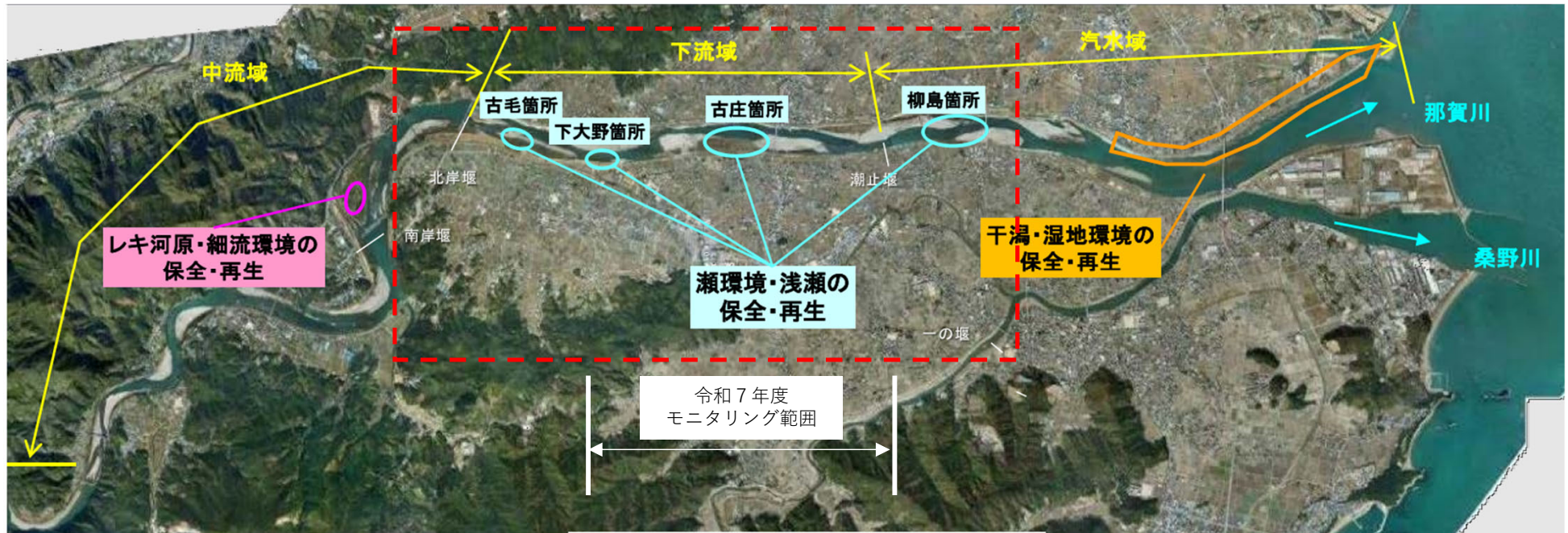


環境保全型農業に取り組む水田に飛来したコウノトリ
[徳島県小松島市 希少種情報につき、委員のみ]
写真提供：小松島市

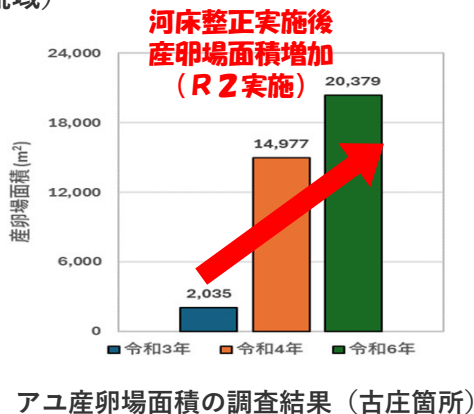
那賀川流域周辺におけるコウノトリの飛来状況

那賀川流域の自然環境(アユ)

- 那賀川では古くからアユ漁業が盛んであり、那賀川を代表する水産資源である。
- 近年では、水質・河床材料の変化による餌環境の悪化や生息場・産卵場となる瀬の減少が課題となっており、アユの産卵が減少している。
- そのため「那賀川自然再生事業」では下流域を中心に、河床整正及び床止工を設置することで、アユ産卵場となる瀬環境の維持・創出に努めている。
- また、上流域においても徳島大学や自治体、地元小学校等が連携した、アユの産卵場づくりが進められている。



■アユの産卵場調査 (下流域)



■アユの産卵場づくり (下流域)



出前授業：大野小学校

■アユの産卵場づくり (上流域)



写真提供：新潟大学河口教授

徳島県では、多様な主体が連携・協働し、コウノトリ・ツル類を指標とした生態系ネットワークの形成による地域活性化及び経済振興の実現を図るための取組の推進を目的とした、徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会が設置されており、令和7年度、那賀川流域における地域ワーキングとして那賀川流域地域ワーキング検討会が発足し取組を進めている。

徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会

- 指標種：コウノトリ・ツル類
- 事務局：徳島河川国道事務所・那賀川河川事務所・徳島県

- 「吉野川流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会」の委員を中心に、コウノトリ・ツルの飛来地である県内自治体首長が参加。
- 吉野川流域・那賀川流域等の県内他流域を加えた、「徳島県流域生態系ネットワーク全体構想」を策定。



専門部会

「地域・人づくり」
「生息環境づくり」

- ・地域ワーキングでの検討及び事業実施における専門的知見からの支援

支援

地域ワーキング(各流域において複数の設置を目指す)

徳島河川国道事務所

鳴門地区地域ワーキング

先行モデル

・事業を具体的に推進するために、地域の課題に関する検討を行うために複数のワーキングを設置。

- 鳴門地区地域・人づくりワーキング
- 旧吉野川津慈地区管理運営あり方検討ワーキング
- 旧吉野川津慈地区湿地環境づくりワーキング

那賀川河川事務所

那賀川流域地域ワーキング検討会

- ・那賀川流域生態系ネットワークは、鳴門地区と同様に、上部組織である徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会の地域ワーキングとして位置づけ、生態系ネットワークの形成を図る。

令和7年度：那賀川流域地域ワーキング検討会、コアワーキングを設置

R7.5月

- 第1回 那賀川流域地域ワーキング検討会
・取組範囲、目標、方向性（案）、各回メンバーについて説明。

R7.5~6月

- 第1回 鳥類・魚類コアワーキング
・メンバー間での情報共有、今後の取組についての意見照会。

R7.9月

- 第2回 鳥類・魚類コアワーキング
・取組案の検討。（取組内容・目標、場所・時期、役割分担、課題等）

R7.12月

- 第2回 那賀川流域地域ワーキング検討会
・各団体における取組内容を取りまとめ、実施できるものから実施。

令和8年度：那賀川流域地域ワーキング検討会、コアワーキングを継続

- ・具体目標や取組内容を示した「行動計画（案）」を策定。
- ・幅広く広報するためのロゴマーク・キャッチコピーの設定。
- ・各団体において取組を実施。



那賀川流域地域ワーキング検討会



鳥類コアワーキング



魚類コアワーキング

今後の取組(鳥類コアワーキング)

今後の取組(魚類コアワーキング)

取組			
分類	指標種・シンボル種の候補	取組目的	取組内容
生息環境づくり	ナベヅル	ねぐら環境の創出	人・車両の立ち入りによる影響の軽減
			ねぐらの創出(堤外地)
			ねぐらの創出(堤内地)
		採食環境の創出	採食場の創出(水田)
	ナベヅルの誘導	デコイ(ナベヅルの模型)の設置	
	コウノトリ	営巣環境の創出	人工巣塔の設置
		採食環境の創出	堤外地での多様な環境の創出 採食環境の創出(水田)
	ミサゴ	営巣環境の創出	人工巣台の作製・設置
	ブッポウソウ	営巣環境の創出	巣箱架け
	ヤマセミ	営巣環境の創出	河川事業、道路事業等に合わせた営巣環境(土壁等)の創出
営巣用の巣穴の設置			
地域・人づくり(地域活性化)	コウノトリ	生きものに配慮した農法の推進による環境ブランド化	生きものに配慮した農法の推進による環境ブランド化
	ナベヅル		
	コウノトリ、ナベヅル等		有機農産物の利用促進による環境ブランド化(稲作における有機及び特別栽培の促進と面積拡大など)
	鳥類全般		身近な野鳥に関する普及・啓発を通じた地域の魅力向上
		「市町村の鳥」の選定を通じた地域の魅力向上	
自然資源を活用した上下流の交流		森林と河川とのつながりを学び・体験する機会の提供	



ナベヅルへの人・車両の立ち入りによる影響の軽減
※啓発看板の設置



ナベヅルのねぐらの創出(堤内地)
※冬季湛水+立体デコイ設置



ナベヅルの採食場の創出(水田)
(イメージ写真)
※二番穂の確保

取組			
分類	指標種・シンボル種の候補	取組目的	取組内容
生息環境づくり	アユ	産卵環境の再生	産卵場の造成(上流域)
			産卵環境の再生(上流域)
産卵環境の再生(下流域)			
		取組効果の把握	取組効果の定量的な把握
	生物全般	水源林の保全・管理	水源林の生物多様性の向上
地域・人づくり(地域活性化)	アユ、アマゴ、サツキマス、ニホンウナギ、ハゼ類等	普及・啓発(アユ等に関する体験機会づくり)を通じた地域の魅力向上	食体験の機会提供を通じた地域の認知度や魅力の向上
			体験型のイベントや学習機会の提供を通じた保全意識、郷土愛の醸成
地域・人づくり(地域活性化)	アユ、アマゴ、サツキマス、ニホンウナギ、ハゼ類等	普及・啓発(アユ等に関する体験機会づくり)を通じた地域の魅力向上	関連情報の発信を通じた地域の認知度や魅力の向上
			アユ



アユの産卵場づくり
※阿南市立大野小学校
(令和7年10月16日)



環境学習・自然体験イベント
(イメージ写真)
※アユの石焼き体験
(令和7年8月23日)

那賀川流域地域ワーキング検討会の今後の動き

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度～
那賀川流域地域ワーキング検討会 【令和7年5月22日設置】	第1回 (5/22) 第2回 (12/2)		開催 (年1回程度)			(継続開)
	<ul style="list-style-type: none"> ・コアワーキングの検討状況の共有 ・取組内容の決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・コアワーキングの検討状況及び取組状況の確認 ・コアワーキングの検討状況及び取組状況に応じて今後の取組について変更・決定 				
コアワーキング						
鳥類コアワーキング 【令和7年5月26日設置】	第1回 (5/26) 第2回 (9/16)		開催 (年1～2回程度)			(継続開催)
	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な取組内容の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な取組の実施 ・取組の実施状況を踏まえた具体的な取組の検討 (変更・新規) ・検討会に対して検討状況及び取組状況の報告 				
魚類コアワーキング 【令和7年6月4日設置】	第1回 (6/4) 第2回 (9/18)		開催 (年1～2回程度)			(継続開催)
	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な取組内容の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な取組の実施 ・取組の実施状況を踏まえた具体的な取組の検討 (変更・新規) ・検討会に対して検討状況及び取組状況の報告 				

徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会 (2月6日開催)

- ・令和8年度に策定予定の(仮称)行動計画の対象期間に基づき、当面5年間のスケジュールとして想定
- ・令和12年度以降は検討会・コアワーキングは、(仮称)行動計画の進捗状況を勘案し、開催形態(検討事項、開催頻度等)を検討・決定することを想定